



令和 8 年 9 月 2 日
防災くらし安心部

報道関係者各位

2026 年度「災害時石油供給連携計画訓練」における
模擬給油訓練の実施について
～本県での実施は 9 年ぶり 2 回目。空港での実施は本県として初～

本県では、大規模災害発生時に、災害応急対策上重要な施設へ燃料を円滑に供給できるよう、石油連盟と連携して供給体制の確保を図っています。

このたび、本県と石油連盟の共催により、災害時における重要施設への燃料の緊急供給を想定して、大型タンクローリーを実際に施設へ派遣し、施設への進入・誘導から燃料の受入れまでの一連の手順を確認する訓練を実施しますので、お知らせします。

つきましては、当日の取材・報道についてご配慮くださるようお願いいたします。

記

1 日 時

令和 8 年 9 月 9 日（水）午前 10 時 00 分から午前 10 時 30 分まで

2 場 所

山形空港

（東根市大字羽入字柏原新林 3008） ＊訓練場所は別図参照

3 主催等

（1）主催

石油連盟、山形県

（2）協力

コスモ石油マーケティング(株)、結城運輸倉庫(株)、山形空港ビル(株)

4 訓練概要

大型タンクローリーを実際に施設へ派遣し、燃料の受入れに係る一連の手順を確認します。

〔主な訓練内容〕

- ・ 大型タンクローリーの施設内への進入・誘導
- ・ 配送内容（油種・数量）やタンクの状況等の確認
- ・ 給油口へのホース接続等の模擬給油作業
- ・ 納品確認等の燃料受入れ手続の確認

※訓練では、実際の給油は行いません。

5 その他

（1）石油連盟について

1955 年に国内の石油精製・元売会社で構成される団体として創立され、現在

10 社の会員会社で構成されている基幹的産業団体です。

(2) 「災害時石油供給連携計画訓練」について

「災害時石油供給連携計画」は、大規模災害により特定の地域への石油の供給が不足する事態において、石油精製・元売会社が相互に連携して石油の安定供給を確保するため、石油備蓄法に基づき策定されるものです。

石油連盟では、同計画に基づく訓練を 2013 年度（平成 25 年度）から実施しており、今回の模擬給油訓練もその一環として実施するものです。

(3) 2026 年度模擬給油訓練実施都道府県

山形県、静岡県、石川県、大阪府、山口県、佐賀県、鹿児島県の 7 府県で実施予定です。

(4) 本県での実施について

本県では、2017 年度（平成 29 年度）に県内の医療施設で模擬給油訓練を実施しており、今回が 9 年ぶり 2 回目の実施となります。

【問い合わせ】

山形県防災くらし安心部 防災危機管理課

課長補佐（防災担当） 庄司 電話：023-630-2230

広報監 防災くらし安心部次長 岩瀬